

# 業務要件定義書

---

産業用データ連携基盤

第 1.0 版

## 目次

第1章 はじめに .....	3
第2章 業務実施手順 .....	4
1. 業務の範囲 .....	4
2. 業務フロー .....	5
1) 利用準備 .....	5
2) データ提供 .....	5
3) データ発見 .....	5
4) 利用契約 .....	6
5) データ交換 .....	6
6) 利用終了 .....	7
第3章 利用者 .....	8
第4章 利用時間 .....	9

## 第1章 はじめに

---

「産業領域におけるデータ連携基盤等の構築事業」では、産業領域において分野、業態別に構築されつつあるデータ連携基盤を連邦的に相互連携し、より高度なデータ連携を実現する産業用データ連携基盤の社会実装化及び、これに接続する連携システムの構築を支援することにより、我が国のデータスペースを構築する。

本書は、産業用データ連携基盤に係る業務要件をまとめた文書である。

## 第2章 業務実施手順

### 1. 業務の範囲

表1 業務の範囲

項番	業務	作業	内容	データ 受領者	データ 提供者
1	利用準備	外部 IdP 登録	外部 IdP を利用する場合、外部 IdP の登録を行う。	△	△
		利用申請	分野間データ連携を行うための利用申請を行う。	○	○
		登録審査	登録審査を行う。	—	—
		ユーザ ID 発行	登録審査後にアカウントを発行する。	—	—
		利用情報及び 資材の提供	産業用データ連携基盤の利用情報及び資材を提供する。	—	—
		システム構築	提供された情報及び資材を用いて、産業用データ連携基盤を利用するためのシステムを構築する。	○	○
2	データ提供	提供データ及びデータカタログ準備	提供データ及びデータカタログを準備する。	—	○
		カタログ登録	データカタログを登録する。	—	○
3	データ発見	カタログ検索	必要とするデータを発見するため、産業用データ連携基盤を介してデータカタログを取得する。	○	—
4	利用契約	契約	必要とするデータが契約を伴うデータであった場合、データ受領者とデータ提供者との間で利用契約を行う。	○	○
5	データ交換	データ取得	産業用データ連携基盤を介してデータを取得する。	○	○
6	利用終了	利用終了申請	産業用データ連携基盤の利用を終了するために、利用終了申請を行う。	○	○
		ユーザ ID 削除	利用終了審査後にアカウントを削除する	—	—

## 2. 業務フロー

### 1) 利用準備

利用準備は、データ受領者とデータ提供者が産業用データ連携基盤の利用を開始するために必要な一連の作業である。

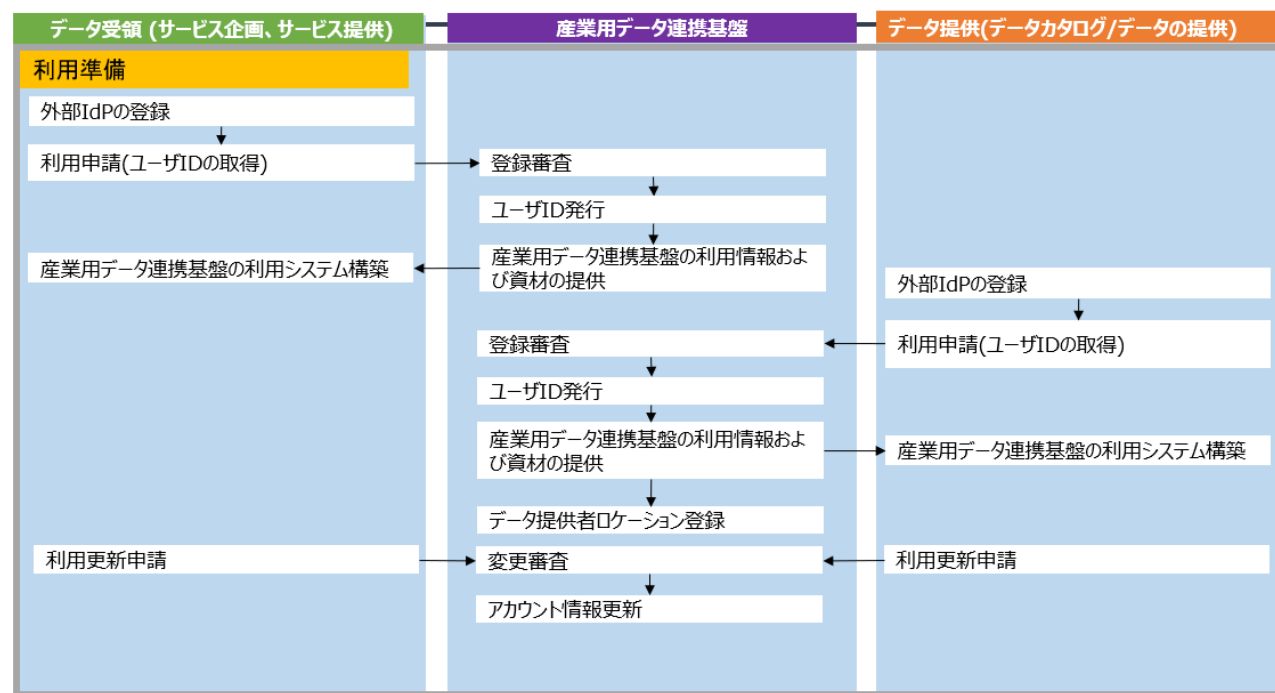


図1 利用準備の概要図

### 2) データ提供

データ提供は、データ提供者が産業用データ連携基盤上で提供するデータセットを用意するために必要な一連の作業である。

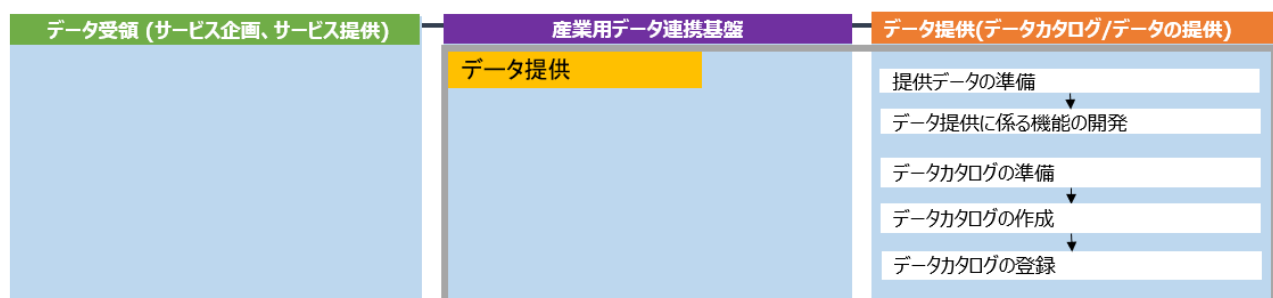


図2 データ提供の概要図

### 3) データ発見

データ発見は、データ受領者が産業用データ連携基盤上で提供されるデータセットを発見するために必要な一連の作業である。

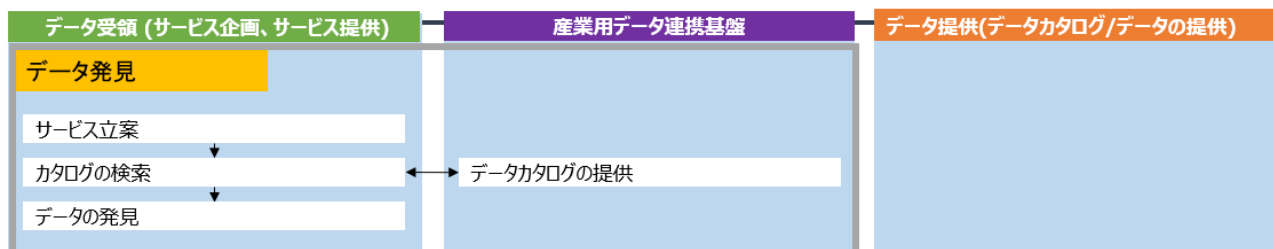


図 3 データ発見の概要図

#### 4) 利用契約

利用契約は、データ受領者とデータ提供者がデータの提供と便益の交換に関する契約を行うために必要な一連の作業である。

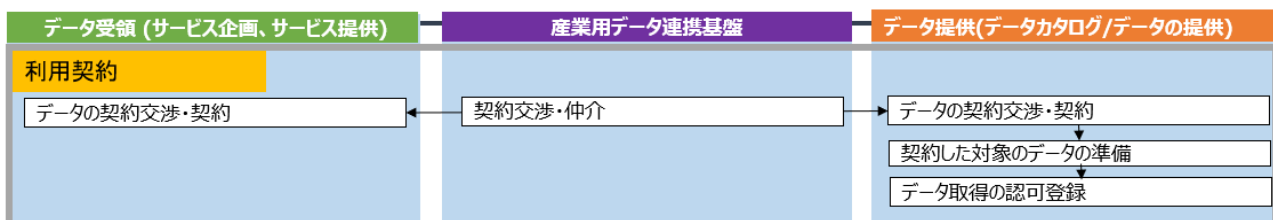


図 4 利用契約の概要図

#### 5) データ交換

データ交換は、データ受領者とデータ提供者がデータの交換を行うために必要な一連の作業である。データ受領者がデータ提供者の用意したデータを取りに来る方式となる。データ交換の業務は、データ受領者側で 1 回取得したデータからサービス提供を行う場合と、継続的にデータを取得してサービス提供を行う場合の 2 種類がある。

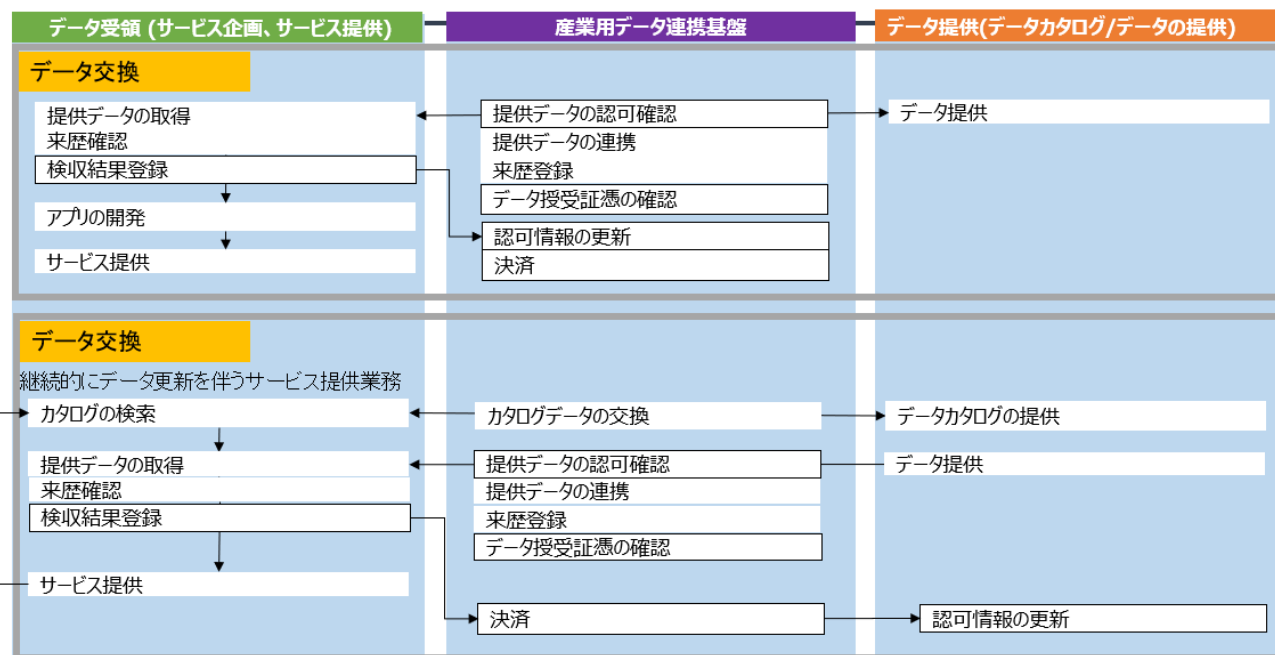


図 5 データ交換の概要図

## 6) 利用終了

利用終了は、データ受領者とデータ提供者が産業用データ連携基盤の利用を終了するために必要な一連の作業である。

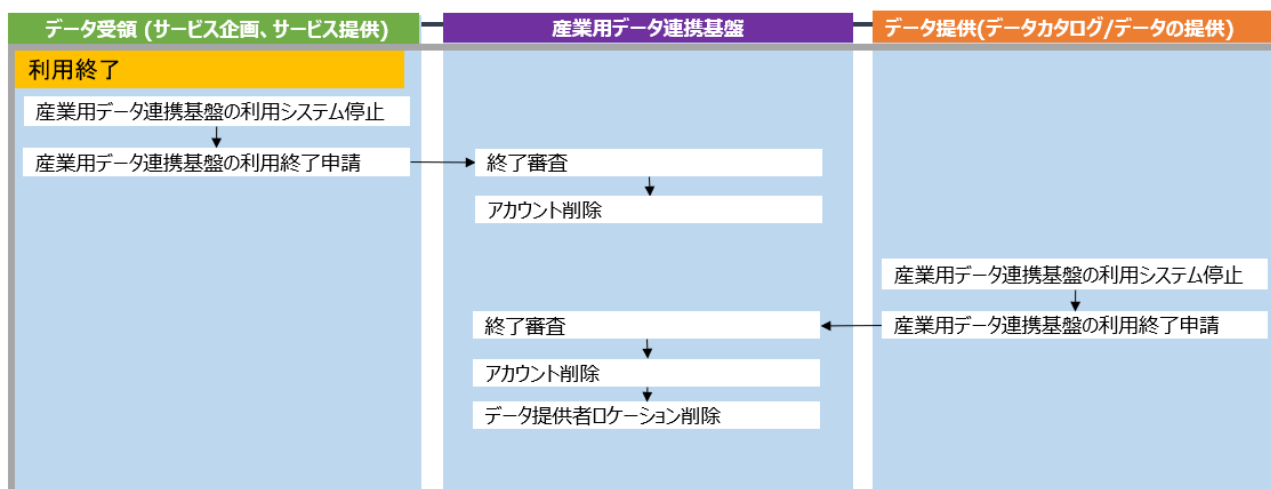


図 6 利用終了の概要図

### 第3章 利用者

分野間データ連携を行う為に、直接的・間接的に係る組織又は個人をステークホルダーと定義する。本章では、産業用データ連携基盤が連携する外部機関（政府、電子証明書の発行局）等については記載しない。

表2 利用者とその概要

利用者	概要
運営事業者	産業用データ連携基盤を運営し、データ受領者、データ提供者に、各種 ID の管理、コネクタの提供・管理、産業用データ連携基盤の運営が適正に行われているかを監督するといった、産業用データ連携基盤のサービス全体の提供を行うステークホルダーである。産業用データ連携基盤の支援サービスを運用・管理し、データ提供者とデータ受領者に産業用データ連携基盤のサービスを提供する。
データ提供者	産業用データ連携基盤にアクセスし、産業用データ連携基盤の機能を通してデータ交換を行うステークホルダーである。 データ提供者には、組織、個人、組織内の個人が存在する。産業用データ連携基盤を利用してデータを公開し、データ受領者に対してデータを提供する。
データ受領者	産業用データ連携基盤にアクセスし、産業用データ連携基盤の機能を通してデータ交換を行うステークホルダーである。 データ受領者には、組織、個人、組織内の個人が存在する。サービスを提供するためサービスを立案し、産業用データ連携基盤を利用してデータを取得し、活用する。



## 第4章 利用時間

---

産業用データ連携基盤の利用について業務時間等の指定はないものの、休日夜間を含め、利用が想定される。産業用データ連携基盤の計画停止については、事前周知や代替対応手段の提供等を考慮して計画すること。なお、産業用データ連携基盤の運用時間は、原則 24 時間（365 日）とする。